

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年2月10日
【四半期会計期間】	第30期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	株式会社一蔵
【英訳名】	ICHIKURA CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 河端 義彦
【本店の所在の場所】	埼玉県さいたま市北区大成町四丁目699番地1
【電話番号】	048-660-2211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務経理本部長 数見 康浩
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目8番1号 丸の内トラストタワーN館13階
【電話番号】	03-5288-7111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務経理本部長 数見 康浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第3四半期連結 累計期間	第30期 第3四半期連結 累計期間	第29期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年12月31日	自2019年4月1日 至2019年12月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	12,824,758	13,872,326	16,839,904
経常利益 (千円)	978,003	737,658	609,866
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	629,477	451,996	142,663
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	602,426	427,928	95,610
純資産額 (千円)	6,341,371	6,228,589	5,844,415
総資産額 (千円)	18,075,254	18,555,928	18,562,292
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	116.32	82.89	26.34
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	35.1	33.6	31.5

回次	第29期 第3四半期連結 会計期間	第30期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年10月1日 至2018年12月31日	自2019年10月1日 至2019年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	102.74	68.88

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 1株当たり情報の算定上の基礎となる「普通株式の期中平均株式数」の計算において控除する自己株式には、信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)により一蔵従業員持株会専用信託が所有する当社株式が含まれております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などが続く一方で、昨秋からの消費増税により、個人消費への影響が懸念されております。また、米中貿易摩擦等による世界経済の不安定化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

(和装事業)

呉服業界におきましては、市場全体としての売上は微減傾向が続いておりましたが、昨今、振袖を中心としたレンタル需要や着方教室をきっかけに呉服販売等が盛んになりつつあること、以前は資産として高価な着物を所有し特別な機会にのみ着用することが多い傾向にありましたがファッションとして“着て”楽しむ消費者層が増加（「所有」から「使用」へと変化）するなどの兆しが見られること、また、経済産業省が国内和装産業の振興を図るため一般社団法人全日本きもの振興会が定める「きもの日」（11月15日）に和服で執務を行う取り組みが行われるなど、引き続き大きな市場があると考えております。

このような環境下におきまして、当社グループは積極的な広告宣伝や当社グループ店内外で開催いたしました催事が功を奏し、特に一般呉服や振袖の販売及び成人式の前撮り写真撮影の受注が大きく伸長したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の和装事業の売上高は10,154,333千円（前年同四半期比9.5%増）となりましたが、積極的な広告宣伝による販売費及び一般管理費を計上したことにより、セグメント利益は1,053,073千円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

(ウエディング事業)

ウエディング業界におきましては、少子化により結婚適齢期を迎える人口が減少していることや未婚化などの影響により婚姻組数の減少傾向が続いている（厚生労働省「2018年人口動態統計の年間推計」）一方、市場規模は1兆4千億円近辺をほぼ横ばいで推移（矢野経済研究所「ブライダル市場に関する調査結果2018」）しております。

このような環境下におきまして、当社グループは広告やブライダルフェアのコンテンツの見直し、挙式・披露宴を演出する新サービスの提供などに努めた事、また、中国現地法人の結婚式場が2019年3月に開業した事等により、当第3四半期連結累計期間のウエディング事業の売上高は3,717,992千円（前年同四半期比4.8%増）となりましたが、中国現地法人の結婚式場が開業した事による先行的に発生する人件費、広告宣伝費及び消耗品費等、販売費及び一般管理費を計上したことにより、セグメント利益は283,528千円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

(全社)

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高13,872,326千円（前年同四半期比8.2%増）、営業利益752,261千円（前年同四半期比21.4%減）、経常利益737,658千円（前年同四半期比24.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益451,996千円（前年同四半期比28.2%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は18,555,928千円(前連結会計年度比0.0%減)となりました。

流動資産の残高は8,901,075千円(前連結会計年度比1.9%減)となりました。

固定資産の残高は9,654,853千円(前連結会計年度比1.8%増)となりました。

負債につきましては12,327,339千円(前連結会計年度比3.1%減)となりました。

流動負債の残高は9,521,542千円(前連結会計年度比1.1%減)となりました。

固定負債の残高は2,805,796千円(前連結会計年度比9.2%減)となりました。これは主に長期借入金が310,194千円減少したことによります。

純資産につきましては6,228,589千円(前連結会計年度比6.6%増)となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益451,996千円を計上した一方で、配当金を77,040千円支払ったことによります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,500,000
計	14,500,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,513,945	5,513,945	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式であり ます。なお、単元株式数は 100株であります。
計	5,513,945	5,513,945	-	-

(注) 当社は、2019年6月20日開催の取締役会決議により、譲渡制限付株式報酬として、2019年7月19日付で新株式を8,412株発行いたしました。なお、当該新株式の発行の内容については以下のとおりであります。

(1) 払込期日	2019年7月19日
(2) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 8,412株
(3) 発行価額	1株につき638円
(4) 発行総額	5,366,856円
(5) 株式の割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	取締役(社外取締役を除く。) 3名 7,850株 執行役員 1名 562株

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	5,513,945	-	1,019,152	-	1,008,451

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,600	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,509,200	55,092	同上
単元未満株式	普通株式 2,145	-	同上
発行済株式総数	5,513,945	-	-
総株主の議決権	-	55,092	-

(注) 完全議決権株式(その他)には、信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)の導入に伴う野村信託銀行株式会社(一蔵従業員持株会専用信託口)が所有する49,900株(議決権499個)が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社一蔵	埼玉県さいたま市北区 大成町四丁目699番地1	2,647	-	2,647	0.05
計	-	2,647	-	2,647	0.05

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,034,746	4,074,993
売掛金	1,031,089	487,332
商品	1,978,056	2,159,565
レンタル商品	1,223,128	1,302,884
仕掛品	346,079	274,743
原材料及び貯蔵品	102,978	169,029
その他	360,321	432,527
流動資産合計	9,076,400	8,901,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,188,996	5,670,755
土地	1,360,548	1,360,548
建設仮勘定	620,580	164,990
その他(純額)	394,050	436,247
有形固定資産合計	7,564,175	7,632,542
無形固定資産		
ソフトウェア	97,804	91,333
のれん	55,752	37,168
その他	85,822	77,753
無形固定資産合計	239,379	206,254
投資その他の資産		
投資有価証券	253,431	253,209
出資金	10	10
敷金及び保証金	1,095,939	1,227,079
繰延税金資産	295,371	302,513
その他	37,585	33,244
投資その他の資産合計	1,682,337	1,816,055
固定資産合計	9,485,892	9,654,853
資産合計	18,562,292	18,555,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	729,655	694,349
短期借入金	2,720,000	2,970,000
1年内返済予定の長期借入金	454,267	430,092
未払金	510,599	642,322
未払費用	312,185	352,142
未払法人税等	192,739	156,192
前受金	4,498,966	4,064,024
預り金	33,959	34,838
賞与引当金	4,410	780
ポイント引当金	-	21,754
その他	172,127	155,045
流動負債合計	9,628,909	9,521,542
固定負債		
長期借入金	2,007,369	1,697,175
資産除去債務	312,442	326,677
退職給付に係る負債	418,721	443,077
役員退職慰労引当金	13,006	13,656
その他	337,428	325,210
固定負債合計	3,088,967	2,805,796
負債合計	12,717,877	12,327,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,016,468	1,019,152
資本剰余金	1,005,767	1,008,451
利益剰余金	3,916,146	4,291,102
自己株式	75,445	47,527
株主資本合計	5,862,936	6,271,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,860	27,241
為替換算調整勘定	45,381	69,830
その他の包括利益累計額合計	18,521	42,588
純資産合計	5,844,415	6,228,589
負債純資産合計	18,562,292	18,555,928

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	12,824,758	13,872,326
売上原価	4,748,600	5,194,293
売上総利益	8,076,158	8,678,032
販売費及び一般管理費	7,118,537	7,925,771
営業利益	957,620	752,261
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,677	5,938
受取手数料	8,172	7,892
受取補償金	3,402	3,045
その他	22,947	9,382
営業外収益合計	40,200	26,259
営業外費用		
支払利息	16,276	14,631
為替差損	-	24,477
その他	3,540	1,753
営業外費用合計	19,816	40,861
経常利益	978,003	737,658
特別利益		
固定資産売却益	459	306
特別利益合計	459	306
特別損失		
固定資産除却損	1,378	700
固定資産売却損	75	524
特別損失合計	1,454	1,225
税金等調整前四半期純利益	977,008	736,740
法人税、住民税及び事業税	346,058	291,281
法人税等調整額	1,472	6,538
法人税等合計	347,530	284,743
四半期純利益	629,477	451,996
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	629,477	451,996

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	629,477	451,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,552	381
為替換算調整勘定	11,499	24,448
その他の包括利益合計	27,051	24,067
四半期包括利益	602,426	427,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	602,426	427,928
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2017年4月10日開催の取締役会決議に基づき、従業員に対する中長期的な企業価値向上のインセンティブを付与する「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)」(以下、「本プラン」という。)を2017年6月に導入しております。

(1) 取引の概要

本プランは、当社が一蔵従業員持株会(以下、「持株会」という。)に加入する全ての従業員のうち一定の要件を充足する持株会会員を受益者とする信託を設定し、当該信託は信託期間(約5年)において、持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を取引所市場から取得し、一定の計画(条件及び方法)に従って継続的に持株会に時価で売却いたします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は、前連結会計年度 75,445千円、68,100株、当第3四半期連結会計期間 47,527千円、42,900株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度 87,600千円、当第3四半期連結会計期間 75,800千円

(ポイント引当金)

ポイントに係る会計処理について、ポイント対象店舗の範囲を広げ、重要性が増したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、使用実績率に基づく将来使用見込額をポイント引当金として計上しております。

この結果、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益がそれぞれ21,754千円減少しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	392,377千円	441,673千円
のれんの償却額	18,584	18,584

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月21日 定時株主総会	普通株式	159,392	29.00	2018年3月31日	2018年6月22日	利益剰余金

(注)2018年6月21日定時株主総会において決議の配当金の総額には、野村信託銀行株式会社(一蔵従業員持株会専用信託口)が保有する当社株式に対する配当金2,949千円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	77,040	14.00	2019年3月31日	2019年6月21日	利益剰余金

(注)2019年6月20日定時株主総会において決議の配当金の総額には、野村信託銀行株式会社(一蔵従業員持株会専用信託口)が保有する当社株式に対する配当金953千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,276,054	3,548,704	12,824,758	-	12,824,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	9,276,054	3,548,704	12,824,758	-	12,824,758
セグメント利益	1,191,126	333,506	1,524,632	567,012	957,620

(注)1. セグメント利益の調整額 567,012千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,154,333	3,717,992	13,872,326	-	13,872,326
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	10,154,333	3,717,992	13,872,326	-	13,872,326
セグメント利益	1,053,073	283,528	1,336,601	584,340	752,261

(注)1. セグメント利益の調整額 584,340千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	116円32銭	82円89銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	629,477	451,996
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	629,477	451,996
普通株式の期中平均株式数(株)	5,411,503	5,452,689

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 「普通株式の期中平均株式数」は、一蔵従業員持株会専用信託が所有する当社株式を控除しております。
なお、1株当たり四半期純利益金額の算定上、控除した当該株式の期中平均株式数は前第3四半期連結累計期間90,330株、当第3四半期連結累計期間55,274株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月10日

株式会社一蔵
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原 秀 敬 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 飯 塚 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社一蔵の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社一蔵及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。